

# 病態制御医学／小児科学

## 附属病院／小児科

### 1. 領域構成教職員・在職期間

教授	眞弓光文	平成9年2月－
助教授	平岡政弘	昭和57年4月－
講師	谷澤昭彦	平成5年4月－
講師	塚原宏一	昭和63年6月－
助手	大嶋勇成	平成10年9月－
助手	中井昭夫	平成3年11月－平成7年4月，平成10年4月－
助手	畑 郁江	平成12年7月－
助手	川谷正男	平成15年4月－
助手	田村知史	平成15年5月－

### 2. 研究概要

#### ・領域の研究概要

小児科学領域は「免疫・アレルギー・呼吸器・感染部門」、「腎・泌尿器部門」、「血液・腫瘍部門」、「胎児・新生児・未熟児部門」、「神経・発達・生育・保健部門」、「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」、「循環器部門」の7つの部門の専門家を擁して、小児領域のほぼすべて疾患に関する教育、研究、診療を行っている。

#### ・領域のキーワード

小児免疫・アレルギー・膠原病学、小児感染症学、小児腎・泌尿器学、小児血液学、小児腫瘍学、胎児医学、先天異常学、新生児医学、未熟児医学、発達小児科学、生育医学、小児神経学、小児保健学、小児社会医学、小児内分泌学、小児代謝・栄養学、遺伝・先天異常学、小児循環器学

#### ・昨年1年間の状況

「免疫・アレルギー・呼吸器・感染部門」は文部科学省科研費基盤研究(B)(2)「レドックス制御が急性肺障害におよぼす治療的効果」（研究代表者）、文部科学省科研費特定領域研究（1）「内分泌攪乱物質がヘルパーT細胞分化に及ぼす影響：アレルギー性疾患の増加との関連性」（研究代表者）、厚生科学研究感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業「食物アレルギーの実態及び誘発物質の解明に関する研究」（分担研究者）、厚生科学研究医療技術評価総合研究「EBMに基づいた喘息治療ガイドライン研究班」（研究協力者）、公健協会委託「気管支ぜん息等の発症・増悪リスクとしての環境要因の寄与の程度に関する研究」（分担研究者）、公健協会委託「乳幼児・小児の気管支ぜん息の保健指導に関する研究班」（分担研究者）などの研究を実施し、小児アトピー性疾患の病因病態における食物アレルギーの関与の解明と新しい治療法の開発、ヘルパーT細胞の分化機構の解明とそのアレルギー疾患治療・予防への応用の可能性、気管支喘息の発症に関わる内分泌かく乱物質の影響の解明などの研究活動を行うと共に、喘息治療ガイドラインの作成に貢献した。臨床では、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、小児膠原病を中心に、その病態の解析やより有効な治療法の開発を行った。

「腎・泌尿器部門」は厚生労働科学研究「小児腎尿路疾患の早期発見システムの導入に関する研究」に研究協力者として参加し、「X線暴露がない膀胱尿道造影法の確立のための検討」を行った。尿路感染症の診療において、早期診断治療により腎瘢痕の発生を防止できることを明らかにし、紙上に発表した。また、これまでの尿路感染症の診療に関する研究成果をまとめて、臨床医向けに単行本として出版した。低異形成腎や水腎症などの腎尿路奇形の診療法についても、これまでの研究成果を

まとめて学会誌に総説として発表した。また、ネフローゼ症候群の初回ステロイド療法についても、全国レベルでコントロールスタディーを行い、その結果を紙上に報告した。さらに、福井県での腎移植を推進する立場から啓蒙的な講演などを行った。

「血液・腫瘍部門」は日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG)、日本小児白血病研究会(JACLS)参加施設として、白血病・悪性リンパ腫の最先端の臨床治療研究、また難治症例への計画的複数回造血幹細胞移植を取り入れた治療を行った。また非血縁者間骨髄移植、臍帯血移植施設として認定されており、その診療のなかでの個々の症例の概要や知見について報告した。

「胎児・新生児・未熟児部門」は、(1) Gas biology、(2) Redox biology、(3) Perinatal transition biologyに焦点を当てて研究を進めた。(1) Gas biology: NO吸入療法を施行する際にその発生が憂慮されるNO<sub>2</sub>とN<sub>2</sub>Oは生体毒性を有する窒素酸化物であるが、NOガスが高压で保存された場合にNO<sub>2</sub>とN<sub>2</sub>Oに不均一に分解される反応:  $3NO = NO_2 + N_2O$ の速度式を導き、米国NHLBI workshop (1993)での合意事項の1つ、“吸入用NOは低压で保存しなければならない”の理論的根拠を世界ではじめて提出した。(2) Redox biology: アトピー性皮膚炎および1型糖尿病小児におけるレドックス環境の変化を特異的尿マーカーを用いて評価した。これらの患児では尿中への8-OHdG、acrolein-lysine、pentosidineの排泄が正常対照に比べて有意に増加しており、その程度は臨床・検査所見の変動と平行していた。酸化ストレスの亢進が両疾患の病態生理に関連することが考えられた。さらに、アトピー性皮膚炎小児では尿中bilirubin oxidative metabolitesの排泄も有意に増加しており、抗酸化酵素であるheme oxygenaseの活性の増強が示唆された。(3) Perinatal transition biology: 胎児から新生児へのtransitionは多種のメディエーターにより先導されながら進行するが、周産期に汎用される薬剤の一部がその生理的過程を干渉しtransition failureの要因になることを証明した。

「神経・発達・生育・保健部門」は臨床では、乳児健診、小児神経・筋疾患から、注意欠陥・多動性障害、学習障害、広汎性発達障害、トゥレット障害などいわゆる軽度発達障害、不登校・ひきこもり、摂食障害など精神的・心身症的な疾患についても、モノアミンの発達・変調の観点からのアプローチ、教育地域科学部、院内外の養護学校との協力など、“子どものこころ”のケアをチーム医療として行っている。今年度は川谷助手が国立精神・神経センターでのレジデントを終え帰学し更に充実した。研究としては、独立行政法人科学技術振興機構(JST)社会技術研究システム(RISTEX)「脳科学と教育」および森永奉仕会の研究助成を受け、機能的MRIや近赤外分光法(NIRS)などによる乳児のこころ・高次脳機能の発達の画像化について研究を行っている。NIRSを用いた光トポグラフィーによる乳児の脳機能計測法を確立し、視覚野での反応について報告、テレビ報道番組でも取り上げられた。また、McGill大学モントリオール神経研究所と共同で、てんかん、過敏性腸症候群における脳内セロトニン異常をPETにより初めて見出した。

「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」では、タンデム質量分析計を用いた新生児代謝異常マスキューニングのパイロットスタディ(文部科学省科学研費・基盤研究(C)(2)による)では、約20万新生児の中から27例の患児を診断し、日本におけるこのスクリーニングの重要性を明らかにした。また、脂肪酸酸化異常症の化学診断については、我が国における中心施設として全国各地の医療機関のみならず、インドや中国の研究機関からも分析依頼を受け付け、多数の患者の診断に貢献した。更に、多くの有機酸代謝異常症患者の化学診断や治療評価のための生化学分析を行った成果を踏まえ、これらの疾患の治療指針作成に向けた取り組みを行った。先天異常・内分泌疾患の臨床研究では、ターナー症候群の多様性に関する検討を行った。

「小児循環器部門」では、臨床面においては(1)先天性心疾患の診断および心臓血管外科との連係による治療、(2)生後発症小児心疾患(不整脈、川崎病後冠動脈障害など)、(3)学童の心臓検診とそのフォローを行っている。小児循環器分野ではカテーテル治療の適応拡大が進んでおり、当科でも該当症例に対する治療を施行している。Holter心電図を用いた自律神経解析の臨床応用、川崎病と酸化ストレスについての研究も行っている。

科研費等の取得状況やその継続性からも明らかなように、小児科学のほぼすべての領域で効率の良い優れた研究を実施し、その成果を外国雑誌を中心に世界に発信している。また、治療ガイドラインの策定、先天代謝異常症のスクリーニング、社会技術研究システム「脳科学と教育」による脳機能画像法による「子供のこころ」の発達と療育の研究など、臨床に密着した、国民の健康の保全と向上に直接結びつく研究を継続して行っている。同時に、血液・腫瘍学領域は福井県唯一の骨髄移植認定施設であり、骨髄移植治療成績の向上のための臨床研究を進め、国内外の大規模な専門施設にひけをとらない治療成績を上げている。新生児・未熟児部門は未熟児の障害なき生存を目指して研究を進め、超未熟児に対する優れた治療成績を上げている福井県唯一の施設である。さらに、小児科の多くの部門が全国的な共同研究を実施するとともに、本学の教育地域科学部、医学部の基礎医学教室や臨床医学教室との共同研究も積極的に推進している。

・本学の理念との関係

小児科学領域は、研究概要、研究進展状況、特色に記載したごとく、本学の理念である先端的医療人および医学研究者の育成、世界をリードする水準の研究成果の創出、高度な医療の実践、のすべての項目において、それに合致した優れた活動を実施している。

### 3. 研究実績

区 分		編 数		インパクトファクター (うち原著のみ)	
		1998～2003年分	2003年分	1998～2003年分	2003年分
和文原著論文		54	12	-----	-----
英文 論文	ファーストオーサー	70	13	144.627 (141.614)	24.606 (24.090)
	コレスポ ンデ ィング オーサー	67	13	127.540 (124.527)	24.606 (24.090)
	その他	40	7	128.313 (121.952)	17.128 (13.302)
	合計	111	20	274.501 (265.127)	41.734 (37.392)

#### (ア) 著書・論文等

##### (1) 英文：論文等

##### a. 原著 (審査有)

#### 0331001

[Hiraoka, M.](#), +Hashimoto, G., +Tsuchida, S., Tsukahara, H., Ohshima, Y., Mayumi, M. : Early treatment of urinary infection prevents renal damage on cortical scintigraphy. *Pediatr. Nephrol.* 18, 115-118, 2003. #1.420,

#### 0331002

[Hiraoka, M.](#), Tsukahara, H., +Matsubara, K., +Tsurusawa, M., +Takeda, N., +Haruki, S., +Hayashi, S., +Ohta, K., +Momoi, T., Ohshima, Y., \*Suganuma, N., Mayumi, M. : A randomized study of two long-course prednisolone regimens for nephrotic syndrome in children. *Am. J. Kidney Dis.* 41, 1155-1162, 2003. #3.688,

#### 0331003

+[Hasegawa, Y.](#), +Kikawa, Y., +Miyamoro, J., +Sugimoto, S., +Adachi, M., +Ohura, T., Mayumi, M. : Intravenous glucerol therapy should not be used in patients with unrecogized fructose-1, 6-bisohosohatase deficiency. *Pediatr. Int.* 45, 5-9, 2003. #0.516,

#### 0331004

+Higa, S., +Hirano, T., Mayumi, M., Hiraoka, M., Ohshima, Y., +Nambu, M., +Yamaguchi, E., +Hizawa, N., +Kondo, N., +Matsui, E., +Katada, Y., +Miyatake, A., +Kawase, I., +Tanaka, T. : Association between interleukin-18 gene polymorphism 105A/C and asthma. Clin. Exp. Allergy. 33, 1097-1102, 2003. #3.721,

### **0331005**

Takeuchi, M., Tanizawa, A., Mayumi M. : Piperacillin plus aztreonam for treatment of neutropenic fever. Pediatr Int. 45(3), 307-10, 2003. #0.516

### **0331006**

+Fedi, M., +Reutens DC, +Andermann F, +Okazawa, H., +Boling W, +White C, +Dubeau F, Nakai A, +Gross DW, +Andermann E, +Diksic M. :  $\alpha$ -[<sup>11</sup>C]-Methyl-L-tryptophan PET identifies the epileptogenic tuber and correlates with interictal spike frequency. Epilepsy Res. 52, 203-213, 2003, 1. #2.355,

### **0331007**

Tsukahara, H., +Ishida, T., Todoroki, Y., Hiraoka, M., Mayumi, M. : Gas-phase disproportionation of nitric oxide at elevated pressures. Free Radic Res. 37(2), 171-177, 2003,2. #2.523,

### **0331008**

Kobuchi, N., Tsukahara, H., \*Kawamura, Y., \*Ishimori, Y., Ohshima, Y., Hiraoka, M., +Ueno, M., +Hiraizumi, Y., Mayumi, M.. : Reversible diffusion-weighted MR findings of Salmonella enteritidis-associated encephalopathy. Eur Neurol. 49(3), 182-184, 2003,3. # 1.104,

### **0331009**

+Natsume, J., +Kumakura, Y., +Bernasconi, N., +Soucy JP, Nakai, A., +Rosa P, +Fedi M, +Dubeau F, +Andermann F, +Lisbona R, +Bernasconi A, +Diksic M. :  $\alpha$ -[<sup>11</sup>C] methyl-L-tryptophan and glucose metabolism in patients with temporal lobe epilepsy. Neurology . 60(5), 756-761, 2003,3. #5.340,

### **0331010**

Nakai, A., +Kumakura, Y., +Boivin M, +Rosa P, +Diksic M, +D'Souza D , +Kersey K. : Sex Differences of Brain Serotonin Synthesis in Patients with Irritable Bowel Syndrome using  $\alpha$ -[<sup>11</sup>C]Methyl-L-Tryptophan, Positron Emission Tomography and Statistical Parametric Mapping. Can J Gastroenterol. 17(3), 191-196, 2003, 3. #1.432,

### **0331011**

Tsukahara, H., +Shibata, R., Ohshima, Y., Todoroki, Y., Sato, S., Ohta, N., Hiraoka, M., +Yoshida, A., +Nishima, S., Mayumi, M. : Oxidative stress and altered antioxidant defenses in children with acute exacerbation of atopic dermatitis. Life Sci. 72(22), 2509-2516, 2003,4. #1.824,

### **0331012**

Nakai, A., +Kashikura, K., +Kochiyama, T., +Sadato, N., \*Yonekura, Y., +Koizumi, H., Mayumi, M. : Cerebral Blood Oxygenation Changes to Visual Stimulation in Infants Studied with Functional Optic Topography. NeuroImage. 19(Suppl 1), S55, 2003,6. #6.192

### **0331013**

+Maeda, M., +Shiroyama, T., Tsukahara, H., +Shimono, T., +Aoki, S., +Takeda, K. : Transient splenial lesion of the corpus callosum associated with antiepileptic drugs: Evaluation by diffusion-weighted MR imaging. Eur Radiol. 13(8), 1902-1906, 2003,8. #1.370,

### **0331014**

Tsukahara, H., +Sekine, K., +Uchiyama, M., +Kawakami, H., Hata, I., Todoroki, Y., Hiraoka, M., +Kaji, M., +Yorifuji, T., +Momoi, T., +Yoshihara, K., +Beppu, M., Mayumi, M. : Formation of advanced glycosylation end products and oxidative stress in young patients with type 1 diabetes. Pediatr Res. 54(3), 419-424, 2003,9.

### **0331015**

[Tsukahara, H.](#), +Shibata, R., Ohta, N., Sato, S., Hiraoka, M., +Ito, S., +Noiri, E., Mayumi, M. : Increased pentosidine, an advanced glycation endproduct, in urine from children with acute exacerbation of atopic dermatitis and its relation with oxidative stress. *Metabolism*. 52(12), 1601-1605, 2003,12. #2.009,

#### **b. 原著 (審査無)**

### **0331016**

[Tsukahara, H.](#), Ohta, N., Kobata, R., Todoroki, Y., Sato, S., Hiraoka, M., Mayumi, M., \*Shukunami, K., \*Kotsuji, F. : Intrauterine exposure to ritodrine and magnesium sulphate and infantile renal dysfunction. *J Jpn Soc Pediatr Renal Fail*. 23, 95-97, 2003,8.

### **0331017**

[Tsukahara, H.](#) : The transition from fetus to neonate: Physiological significance of vasoactive and natriuretic mediators. *J Dev Nephrol*. 11(1), 26-31, 2003,9.

#### **c. 総説**

### **0331018**

[+Yoshino, M.](#), +Tokunaga, Y., +Watanabe, Y., +Yoshida, I., +Sakaguchi, M., Hata, I., \*Shigematsu, Y., +Kimura, M., +Yamaguchi, S. : Effect of supplementation with L-carnitine at a small dose on acylcarnitine profiles in serum and urine and the renal handling of acylcarnitines in a patient with multiple acyl-coenzyme A dehydrogenation defect. *J Chromatogr B*. 792(1), 73-82, 2003. #1.913, doi:10.1016/S1570-0232(03)00310-6.

### **0331019**

\*[Shigematsu, Y.](#), Hirano, S., Hata, I., \*Tanaka, Y., \*Sudo, M., +Tajima, T., +Sakura, N., +Yamaguchi, S., +Takayanagi, M. : Selective screening for fatty acid oxidation disorders by tandem mass spectrometry: difficulties in practical discrimination. *J Chromatogr B*. 792(1), 63-72, 2003. #1.913, doi:10.1016/S1570-0232(03)00281-2.

### **0331020**

[Hiraoka, M.](#) : Medical management of congenital anomalies of the kidney and urinary tract. *Pediatr. Int*. 45, 624-633, 2003. #0.516,

## **(2) 和文：著書等**

#### **a. 著書 (単著)**

### **0331021**

平岡政弘 : 小児尿路感染症の外来診療マスターブック. 医学書院, 2003.

#### **b. 著書 (分担執筆)**

### **0331022**

大嶋勇成 : 喘息日誌活用のかつ 小児科外来診療のコツと落とし穴 1, 176-177. こういう患者は危ない 小児科外来診療のコツと落とし穴 1, 202-203. +柳沢正義(監), +森川昭廣(編) : 小児喘息診療. 中山書店, 2003.

### **0331023**

平岡政弘 : 遊走腎 (下垂腎). +大関武彦, +古川漸, +横田俊一郎(編) : 今日の小児治療指針. 第13版, 医学書院, 427, 2003.

### **0331024**

平岡政弘 : 夜尿症. \*下条文武, +齋藤康(編) : ダイナミックメディスン. 西村書店, 28-59 - 28-60, 2003.

### **0331025**

平岡政弘 : 頻尿・排尿痛, 123-125. 血尿・蛋白尿, 133-136. むくみ(浮腫), 137-139. 尿路感染症, 283-288. +横田俊平, +田原卓浩, +橋本剛太郎(編) : **小児の薬の選び方・使い方**. 南山堂, 2003.

### **0331026**

平岡政弘 : 尿検査. : **小児科臨床増刊号56「小児外来の検査の要領と診断への生かし方」**. 日本小児医事出版社, 1231-1235, 2003.

### **0331027**

眞弓光文 : 小児気管支喘息の危険因子とその予防 出生後予防小児. +西間三馨, +森川昭廣(監修企画) : **小児科シリーズII コ・メディカルと患者家族のための小児の気管支喘息**. 現代医療社, 7-13, 2003.

### **0331028**

眞弓光文, 大嶋勇成 : Dendritic Cell. +小林節雄, +宮本昭正, +中島重徳(編) : **第22回六甲カンファレンス 喘息に関する細胞をめぐって(最近の進歩)**. ライフサイエンス出版, 3-10, 2003.

### **0331029**

眞弓光文 : 小児科医にとって研究とは何か?. +五十嵐隆, +渡辺博, +田原卓浩(編) : **小児科研修医ノート 一医のこころ. 診断と治療社**, 78-80, 2003.

### **0331030**

眞弓光文 : アレルギー疾患, 271-280. 膠原病および類縁疾患, 293-303. +森川昭廣, +内山聖(編) : **標準小児科学第5版**. 医学書院, 2003.

### **0331031**

眞弓光文 : 服薬コンプライアンスを悪化させないための指導と喘息日誌の活用法. +柳澤正義(監), +森川昭廣(編) : **小児科外来診療のコツと落とし穴(1) 小児喘息治療**. 中山書店, 219, 2003.

### **0331032**

眞弓光文 : 喘鳴—小児科の立場から. +中川武正, +片山一朗, +岡本美孝(編) : **アレルギー疾患 専門医にきく最新の臨床**. 中外医学社, 5-7, 2003

### **0331033**

眞弓光文 : アレルギーマーチ ~喘息への移行を心配しているアトピー性皮膚炎の子どもをもつ保護者の方へ~. +宮地良樹(編). : **ファーマナビゲーター アレルギーシリーズ アレルギー性皮膚疾患編**. メディカルレビュー社, 64-66, 2003.

### **0331034**

眞弓光文, \*北山富士子 : アレルギー・免疫疾患 食物アレルギー. +渡辺明治, +福井富穂(編) : **今日の病態栄養療法**. 南江堂, 292-299, 2003.

### **0331035**

眞弓光文 : 気道炎症疾患としての概説. +西間三馨, +森川昭廣(編) : **図説: 小児喘息の特徴 一病態と薬物療法を中心に**. メディカルレビュー社, 16-24, 2003

### **0331036**

塚原宏一：低出生体重児と消化管アレルギー：ミルクアレルギーと壊死性腸炎. 第3回新生児栄養フォーラム論文集. 99-103, 2003,3.

### **0331037**

塚原宏一：輸液療法の基礎:新生児の輸液の特殊性を知る：Neonatal Care 2003年春季増刊号 (新生児輸液マニュアル). 10-20, 2003,3.

### **0331038**

眞弓光文：問診. 眞弓光文,+亀山順治,\*寺澤秀一(編)：コア・ローテーション小児科. 金芳堂, 40-41, 2003,7.

### **0331039**

谷澤昭彦：腰椎穿刺と髄液検査. 眞弓光文,+亀山順治,\*寺澤秀一(編)：コア・ローテーション小児科. 金芳堂, 76-77, 2003,7.

### **0331040**

中井昭夫,\*重松陽介：発達障害. 眞弓光文,+亀山順治,\*寺澤秀一(編)：コア・ローテーション小児科. 金芳堂, 160-163, 2003,7.

### **0331041**

塚原宏一：輸液の基本, 166-169. 感染対策, 180-183. 眞弓光文,+亀山順治,\*寺澤秀一(編)：コア・ローテーション小児科. 金芳堂, 2003,7.

### **0331042**

大嶋勇成：下肢痛、関節腫脹・疼痛. 眞弓光文,+亀山順治,\*寺澤秀一(編)：コア・ローテーション小児科. 金芳堂, 351-354, 2003,7.

#### **c. 編纂・編集・監修**

### **0331043**

眞弓光文,+亀山順治,\*寺澤秀一：コア・ローテーション小児科. 金芳堂, 2003,7.

#### **(3) 和文：論文等**

##### **a. 原著(審査有)**

### **0331044**

+但馬剛,+佐倉伸夫,+夜船展子,+Andi Dwi Bahagia Febriani,+西村裕,+坂本明子,+小野浩明,+木村正彦,+山口清次,畑郁江,\*重松陽介：高速液体クロマトグラフィ法による有機酸・脂肪酸代謝異常症の酵素診断. 日本マススクリーニング学会誌. 13(1), 39-45, 2003.

### **0331045**

眞弓光文,大嶋勇成,+宮脇利男,+高橋弘昭,+小泉晶一：病院小児科勤務医の勤務状況とその改善について. 日本小児科学会誌. 107, 85-92, 2003,1.

### **0331046**

鈴木孝二,塚原宏一,椎間優子,早川和代,古畑律代,佐藤周子,西田公一,谷澤昭彦,平岡政弘,\*宿南憲一,\*小辻文和,眞弓光文：高マグネシウム血症,低カルシウム血症,心機能障害,壊死性腸炎の発症に硫酸マグネシウムの母体投与の関連が考えられた早産児例. 小児科臨床. 56(2), 210-214, 2003,2.

### **0331047**

+麻生浩子,+前田正幸,+大達清美,塚原宏一,+竹田 寛 : MRIで脳梁膨大部正中に可逆性孤発病変を認めた急性脳炎の一例. 臨床放射線. 48(3), 425-428, 2003,3.

### **0331048**

中井昭夫,+柏倉健一,\*米倉義晴,+定藤規弘,+小泉英明,眞弓光文 : 機能的光トポグラフィーによる乳児視覚野の脳血流制御の経時的変化の検討. 脳と発達. 35, S114, 2003,5.

### **0331049**

\*山田須美恵,\*重松陽介,\*岩本陽子, 川満徹 : 障害児療育における父親の育児参加について. 福井県小児保健協会会報. 7, 15-18, 2003,6.

### **0331050**

山田直江,大嶋勇成,鈴木孝二,古畑律代,小俣合歓子,安富素子,山田彰子,眞弓光文 : 血球貪食像を伴う不明熱で発症した皮膚筋炎の一例. アレルギーの臨床. 54, 1056-1059, 2003, 6 .

### **0331051**

山田直江,塚原宏一,古畑律代,鈴木孝二,早川和代,佐藤周子,平岡政弘,眞弓光文 : 母体への硫酸マグネシウム長期投与による骨減少症が疑われた超低出生体重児例. 日児誌. 107, 925-927, 2003,6.

### **0331052**

小倉一将,+原 慶和,塚原宏一,+塚原正人,眞弓光文 : 急性脳症を呈した猫ひっかき病の1小児例. 小児感染免疫. 15, 211-216, 2003,7.

### **0331053**

塚原宏一,畑 郁江,巨田尚子,佐藤周子,轟夕起子,平岡政弘,眞弓光文,+内山真由美,+川上寿子,+関根恭一,+三浦雅一 : 1型糖尿病若年患者におけるカルボニル/酸化ストレスの評価. 日本小児腎臓病学会雑誌. 16(2), 143-150, 2003,11.

#### **b. 原著 (審査無)**

### **0331054**

小淵信子,塚原宏一,西田公一,大嶋勇成,平岡政弘,眞弓光文,\*石森佳幸,\*河村泰孝 : 拡散強調画像にて明瞭な病変を認めたSalmonella脳症の1例. 福井MR研究会誌. 6, 15-16, 2003,3.

### **0331055**

鈴木孝二,塚原宏一 : 高マグネシウム血症,低カルシウム血症,心機能障害,壊死性腸炎の発症に硫酸マグネシウムの母体投与の関連が考えられた早産児例. Bibliography in Gastroenterology. 17(3), 38, 2003,8.

#### **c. 総説**

### **0331056**

\*重松陽介,畑 郁江 : タンデム質量分析計による新生児マス・スクリーニング ; 有機酸・脂肪酸代謝異常症を中心に. 特殊ミルク情報. 39, 20-23, 2003.

### **0331057**

平岡政弘 : 3歳児検尿の意義. 日本医事新報. 4141, 95-96, 2003.

### **0331058**

平岡政弘 : 先天性腎尿路奇形(CAKUT)・日本小児科学会雑誌. 107, 1455-1468, 2003.

### **0331059**

眞弓光文：気管支喘息 ～難治化を防ぐために～ 夏期特集＝各科領域治療の話題. Medicament News. 1769, 17-19, 2003.

### **0331060**

眞弓光文：最新の診断・治療ガイドラインー小児 特集/最近の気管支喘息ー進歩と展望. 臨床と研究. 80(11), 1977-1981, 2003.

### **0331061**

+海老澤元宏,+有田昌彦,+伊藤節子,+宇理須厚雄,+小倉英郎,+河野陽一,+近藤直実,+柴田瑠美子,+古庄巻史,眞弓光文,+向山徳子：食物アレルギー委員会報告 第2報 食物アレルギーの定義と分類について. 日本小児アレルギー学会誌. 17(5), 558-559, 2003.

### **0331062**

大嶋勇成,眞弓光文：遺伝子多型とアレルギー. 日本小児科学会誌. 107, 733-739, 2003,1.

### **0331063**

大嶋勇成：皮膚症状とアレルギー性疾患の経過. 日本小児アレルギー学会誌. 17, 32-37, 2003,1.

### **0331064**

塚原宏一：周生期における血管作動因子・利尿因子の果たす生理学的役割. 小児科臨床. 56(2), 163-167, 2003,2.

### **0331065**

大嶋勇成,眞弓光文：アレルギー疾患の免疫学：リンパ球の役割. 小児内科. 35, 567-571, 2003,4.

### **0331066**

平岡政弘：尿路感染症と膀胱尿管逆流症. 小児科診療. 66, 647-650, 2003,4.

### **0331067**

平岡政弘：膀胱尿管逆流症. 腎と透析. 54, 461-465, 2003,4.

### **0331068**

平岡政弘：尿検査異常者への画像検査. 小児内科. 35, 846-852, 2003,5.

### **0331069**

大嶋勇成：抗喘息薬の基礎と臨床（小児）：吸入ステロイド. アレルギーの臨床. 23, 18-523, 2003,7.

### **0331070**

平岡政弘：膀胱尿管逆流症の発生機序とその診断. 腎と透析. 55, 88-91, 2003,7.

### **0331071**

大嶋勇成：アレルギー性疾患の病態形成における樹状細胞の役割. 現代医療. 35, 1848-1852, 2003,8.

### **0331072**

大嶋勇成,眞弓光文：アレルギー性の気道炎症と細胞：樹状細胞. アレルギー・免疫. 10, 982-987, 2003,8.

#### **d. その他**

### **0331073**

大嶋勇成, 安富素子, 小俣合歓子 : マクロライド系抗生物質が樹状細胞機能の及ぼす影響. 公害健康被害補償予防協会委託業務報告書 : 乳幼児・小児の気管支ぜん息の保険指導に関する研究報告書. 2002年度, 116-119, 2003.

### **0331074**

\*重松陽介, 畑 郁江 : タンデム質量分析計による新生児マススクリーニングの対象疾患とその有用性に関する検討. 平成14年度厚生労働科学研究 (子ども家庭総合研究事業) 報告書. 72-74, 2003.

### **0331075**

眞弓光文, +小田島安平, +千葉友幸 : 2002年小児気管支喘息治療・管理ガイドライン改訂の考察と薬物療法. Clinic magazine. 3月号, 32-37, 2003.

### **0331076**

眞弓光文 : ガイドラインから考える小児気管支喘息長期管理のポイント. Key press Asthma for Pediatrics. 8, 2003.

### **0331077**

塚原宏一 : 腎不全に対してレドックス制御がもたらす治療的效果. 平成13年度～14年度科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 研究実績報告書. 2003.

### **0331078**

眞弓光文, 大嶋勇成, 塚原宏一 : 小児アトピー性皮膚炎の発症に関する因子および発症予測・予防に関する実験的・文献的解析. 平成14年度厚生労働科学研究費補助金: 免疫アレルギー疾患予防・治療等研究事業. 研究報告書 (免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業事務局) . 10-12, 2003.

### **0331079**

眞弓光文, 塚原宏一, 大嶋勇成 : 小児アトピー性皮膚炎における酸化ストレスおよびレドックス制御機構の関与に関する研究. 平成14年度厚生労働科学研究費補助金: 免疫アレルギー疾患予防・治療等研究事業. 研究報告書 (免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業事務局) . 13-15, 2003.

### **0331080**

眞弓光文, 塚原宏一 : レドックス制御が急性肺傷害におよぼす治療的效果. 平成14年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 研究実績報告書. 2003.

## **(イ) 学会発表等**

### **(1) 国際学会**

#### **a. 一般講演等**

### **0331081**

Ohshima, Y., Omata, N., Yasutomi, Y., Mayumi, M. : MCP-1 selectively inhibits the acquisition of CD40L-dependent IL-12 producing capacity of monocyte-derived dendritic cells and modulates Th1 immune response. 2003 Keystone Symposia : Dendritic Cells: Interfaces with Immunobiology and Medicine, 2003,3, Keystone.

### **0331082**

Omata, N., Yasutomi, M., Ohshima, Y., Mayumi, M. : MCP-1 selectively inhibits the acquisition of CD40L-dependent IL-12 producing capacity of onocyte-derived dendritic cells and modulates Th1 immune response. Nemuko 2003 American ssociation of Immunologist Meeting. 2003,5, Denver.

### **0331083**

Tsukahara, H., Sato, S., Todoroki, Y., Ohta, N., Hiraoka, M., Mayumi, M. : The endothelin A receptor antagonist, FR 139317, induces osteopenia in growing rats. The Scientific Satellite Symposium on Pediatric Bone Disease, 1st Joint Meeting of IBMS and JSBMR. 2003,6, Osaka.

### **0331084**

Tsukahara, H., Yamada, N., Kobata, R., Sato, S., Ohta, N., Mayumi, M. : An extremely low birthweight infant with metaphyseal osteopenia possibly due to maternal administration of magnesium sulfate. 1st Joint Meeting of IBMS and JSBMR.2003,6, Osaka.

### **0331085**

Tsukahara, H., Todoroki, Y., Sato, S., Ohta, N., Hiraoka, M., Mayumi, M. : Nitric oxide modulates bone mineralization in growing rats. 1st Joint Meeting of IBMS and JSBMR. 2003,6, Osaka.

### **0331086**

Nakai, A., +Kashikura, K., +Kochiyama, T., +Sadato, N., \*Yonekura, Y., +Koizumi, H., Mayumi, M. : Cerebral Blood Oxygenation Changes to Visual Stimulation in Infants Studied with Functional Optic Topography. The 9th Human Brain Mapping 2003. 2003,6, New York.

### **0331087**

\*Shigematsu, Y., Hirano, S., Hata, I., \*Tanaka, Y., \*Sudo, M., +Tajima, T., +Sakura, N., +Ito, M., +Okano, Y., +Yorifuji, T. : Target disorders in newborn screening by tandem mass spectrometry in Japan. IXth International Congress on Inborn Errors of Metabolism. 2003,9, Brisbane. J Inher Metab dis 26(suppl.2), 12, 2003.

### **0331088**

\*Shigematsu, Y., Hirano, S., Hata, I., \*Tanaka, Y., \*Sudo, M., +Tajima, T., +Sakura, N., +Yamaguchi, S., +Takayanagi, M. : Tandem mass spectrometric screening for fatty acid oxidation disorders: difficulties in discrimination. IXth International Congress on Inborn Errors of Metabolism. 2003,9, Brisbane. J Inher Metab dis 26(suppl.2), 97, 2003.

### **0331089**

Tsukahara, H., Hata, I., Todoroki, Y., Hiraoka, M., Mayumi, M., +Uchiyama, M., +Kawakami, H., +Sekine, K., +Yoshihara, K., +Beppu M. : Formation of advanced glycosylation end products and oxidative stress in young patients with type 1 diabetes. 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2003,11, San Diego.

## **(2) 国内学会 (全国レベル)**

### **a. 招待・特別講演等**

### **0331090**

眞弓光文 : 新しい喘息の薬物療法. 第20回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会, 2003, 6, 津.

### **0331091**

平岡政弘 : 小児尿路感染症の診断と治療. 第13回日本外来小児科学会, 2003, 8, 仙台.

### **0331092**

平岡政弘 : 尿路感染症・第28回東日本小児科学会, 2003, 11, 東京.

### **b. シンポジスト・パネリスト等**

### **0331093**

眞弓光文 : 小児喘息 —新しい治療法の開発に向けて—. 第26回日本医学会総会. アレルギーの克服—いま求められる新しい治療法の開発—. 2003, 4, 福岡.

### **0331094**

眞弓光文：小児喘息の病態と重症度分類. 第106回日本小児科学会. 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2002年版. 2003, 4, 福岡.

### **0331095**

塚原宏一：ミルクアレルギーと壊死性腸炎. 第3回新生児栄養フォーラム. 低出生体重児と消化管アレルギー. 2003, 5, 横浜.

### **0331096**

塚原宏一：リトドリン、マグネシウム. 第25回日本小児腎不全学会. 薬剤の胎児腎への影響. 2003, 9, 群馬.

### **0331097**

大嶋勇成：喘息治療の新しい方向—小児期から成人期へ. 第39回日本小児アレルギー学会. 新たな治療法の展望. 2003, 10, 岐阜.

### **0331098**

大嶋勇成：アレルギー治療におけるTh2細胞の制御. 第53回日本アレルギー学会. Th1/Th2バランスにおける樹状細胞の役割. 2003, 10, 岐阜.

### **0331099**

眞弓光文：小児気管支喘息. 第53回日本アレルギー学会総会. アレルギー疾患治療のガイドラインの現状. 2003, 10, 岐阜.

#### **c. 一般講演等**

### **0331100**

古畑律代, 中井昭夫, 塚原宏一, 畑郁江, 谷澤昭彦, 平岡政弘, \*重松陽介, +土田晋也, 眞弓光文：副甲状腺機能亢進症を合併した11/22混合トリソミーの1例. 第106回日本小児科学会学術集会, 2003, 4, 福岡. 日本小児科学会雑誌 107(2), 273, 2003, 2.

### **0331101**

\*重松陽介, 平野聡子, 畑郁江, \*須藤正克, +岡野善行, +佐倉信夫, +伊藤道徳：タンデム質量分析新生児マスキリーニングの有用性と問題点. 第106回日本小児科学会学術集会, 2003, 4, 福岡. 日本小児科学会雑誌 107(2), 324, 2003, 2.

### **0331102**

塚原宏一, 眞弓光文：拡散強調画像にて脳梁膨大部に可逆性病変を認めた急性腸炎関連脳症の2小児例. 第77回日本感染症学会総会, 2003, 4, 福岡.

### **0331103**

平岡政弘, 塚原宏一, +松原耕策, +鶴沢正仁, +武田修明, +春木伸一, +林修平, +太田和秀, +百井亨, 眞弓光文：小児ネフローゼ症候群のステロイド長期投与に関する多施設コントロールスタディー. 第106回日本小児科学会, 2003, 4, 福岡.

### **0331104**

大嶋勇成, 安富素子, 小俣合歓子, 山田彰子, 眞弓光文：内分泌攪乱物質がヒトヘルパーT細胞の分化に及ぼす影響. 第15回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2003, 5, 横浜.

### **0331105**

大嶋勇成, 小俣合歓子, 安富素子, 山田彰子, 眞弓光文: 内分泌攪乱物質がヒト単球由来樹状細胞の分化に及ぼす影響. 第15回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2003, 5, 横浜.

### **0331106**

鈴木孝二, 中井昭夫, 眞弓光文: 生体肝移植後2年を経て多発性硬化症を発症した1幼児例. 第45回日本小児神経学会, 2003, 5, 博多.

### **0331107**

中井昭夫, +柏倉健一, +定藤規弘, \*米倉義晴, +小泉英明, 眞弓光文: 機能的光トポグラフィーによる乳児視覚野の脳血流制御の経時的変化の検討. 第45回日本小児神経学会, 2003, 5, 博多.

### **0331108**

中井昭夫, +\*柏倉健一, \*米倉義晴, +定藤規弘, +小泉英明, 眞弓光文: 機能的光トポグラフィーによる乳児視覚野の反応の経時的変化. 第3回日本赤ちゃん学会, 2003, 5, 東京.

### **0331109**

山田直江, 中井昭夫, +古賀道明, 西田公一, 眞弓光文: 乳児Miller Fisher 症候群の1例. 第45回日本小児神経学会, 2003, 5, 博多.

### **0331110**

塚原宏一, 畑 郁江, 轟 夕起子, 佐藤周子, 平岡政弘, 眞弓光文, +加治正行, +依藤亨, +百井亨, +内山真由実, +関根恭一, +三浦雅一: 1型糖尿病患児におけるカルボニルストレスおよび酸化ストレスの評価. 第38回日本小児腎臓病学会学術集会, 2003, 7, 東京.

### **0331111**

西田公一, 中井昭夫, 山田直江, +山崎武俊, +齋藤正一, 眞弓光文: 自律神経障害の追跡評価にHeart Rate Variabilityが有用であったMiller Fisher症候群の7ヶ月女児例. 第39回日本小児循環器学会, 2003, 7, 神戸.

### **0331112**

早川和代, 古畑律代, 塚原宏一, 畑 郁江: 超低出生体重児の重症感染症に対する顆粒球輸血の経験. 第39回日本新生児学会総会, 2003, 7, 福島.

### **0331113**

澤昭彦, 山田直江, 西田公一, 竹内元浩, 眞弓光文: MTX/PSL投与後に芽球のphenotypeが変化したALL症例. 第45回日本臨床血液学会, 2003, 8, 大阪. 臨床血液 44(8), 341, 2003.

### **0331114**

+小田 慈, +堀部敬三, 谷澤昭彦, +西村真一郎, +宇佐美郁哉, +八木啓子, +原 純一, +多和昭雄, +駒田美弘, +吉田 真, +工藤亨, +上田一博 (小児白血病研究会(JACLS)ALL小委員会): 小児T細胞型急性リンパ性白血病(T-ALL)に対する治療戦略—JACLS T-97研究の治療成績—. 第45回日本臨床血液学会, 2003, 8, 大阪. 臨床血液 44(8), 377, 2003.

### **0331115**

\*重松陽介, 平野聡子, 畑 郁江, \*田中幸枝, \*須藤正克, +依藤亨: 新生児マススクリーニングで発見したグルタル酸尿症I型2症例の質量分析計による治療評価. 第28回日本医用マススペクトル学会年会, 2003, 9, 浜松. プログラム・抄録集 45, 2003.

### **0331116**

+加治政行, 中井昭夫, \*重松陽介, +野口敦子, +荘司裕: 成長ホルモン分泌不全を合併したリジン尿性蛋白不耐症の1例. 第37回日本小児内分泌学会, 2003, 10, 札幌.

### **0331117**

中井昭夫, +Mirko Diksic:  $\alpha$ -[ $^{11}\text{C}$ ]Methyl-L-Tryptophan PETを用いたヒト脳セロトニン合成の画像化とその臨床応用. 第37回日本小児内分泌学会, 2003, 10, 札幌.

### **0331118**

鈴木孝二, 畑 郁江, 平野聡子, 中井昭夫, \*重松陽介: 免疫抑制剤投与中止後に糖尿病と診断された生体肝移植後の一例. 第37回日本小児内分泌学会, 2003, 10, 札幌.

### **0331119**

+小児白血病研究会 (JACLS 代表: 中畑龍俊) ALL小委員会, +八木啓子, +宇佐美郁哉, +小田 慈, +工藤 亨, +駒田美弘, 谷澤昭彦, +多和昭雄, +西村真一郎, +掘 浩樹, +原 純一, +吉田 真, +堀部敬三: JACLS ALL-97治療研究における標準リスク群プロトコールSR-97の成績. 第45回日本小児血液学会, 2003, 10, 金沢. 日小血会誌 17(4), 245, 2003.

### **0331120**

+小児白血病研究会 (JACLS 代表: 中畑龍俊) ALL小委員会, +掘 浩樹, +工藤 亨, +宇佐美郁哉, +小田 慈, +駒田美弘, +多和昭雄, +西村真一郎, +原 純一, +八木啓子, 谷澤昭彦, +吉田 真, +堀部敬三: JACLS ALL-97 治療研究における中間危険群(IR)および高危険群(HR)の治療成績. 第45回日本小児血液学会, 2003, 10, 金沢. 日小血会誌 17(4), 245, 2003.

### **0331121**

安富素子, 大嶋勇成, 小俣合歓子, 山田彰子, 眞弓光文: Toll like receptor(TLR) を介する樹状細胞活性化におけるerythromycin (EM)の影響. 第53回日本アレルギー学会, 2003, 10, 岐阜.

### **0331122**

山田彰子, 大嶋勇成, 小俣合歓子, 安富素子, 眞弓光文: FK506がステロイド減量に有効であったシクロスポリンAの吸収不良を伴う皮膚筋炎の1例. 第40回日本小児アレルギー学会, 2003, 10, 岐阜.

### **0331123**

+儘田光和, +黒川啓二, +河井昌彦, +依藤亨, +中畑龍俊, +百井亨, 畑 郁江, 中井昭夫, 川谷正男, \*重松陽介: 早期に発見したグルタル酸尿症 I 型の1例. 第45回日本先天代謝異常学会, 2003, 11, 松江. 日本先天代謝異常学会雑誌 19(2), 132, 2003.

### **0331124**

鈴木孝二, 谷澤昭彦, 早川和代, 椎間優子, 西田公一, 竹内元浩, 畑 郁江, 眞弓光文, \*都筑昌哉, \*赤木好男, +野田実香, +中村泰久: 眼窩内残存腫瘍摘出が再発を防いだと考えられる眼窩原発横紋筋肉腫の一女児例. 第19回日本小児がん学会, 2003, 11, 東京. 小児がん 40(3), 459, 2003.

### **0331125**

平野聡子, 畑 郁江, 中井昭夫, \*重松陽介, 眞弓光文: 症状安定期に大脳基底核病変を伴う不随意運動を呈したプロピオン酸血症の1例. 第45回日本先天代謝異常学会, 2003, 11, 松江. 日本先天代謝異常学会雑誌 19(2), 169, 2003.

### **0331126**

+大塚欣敏, +長谷川大輔, +鶴田敏久, +河崎裕英, +海老原康博, +広瀬偉美子, +真部 淳, +辻 浩一郎, +黒

田達夫, +佐藤雄也, 谷澤昭彦, +山下直秀: 神経芽腫に対する遺伝子治療 (第1相臨床試験) の問題点. 第19回日本小児がん学会, 2003, 11, 東京. 小児がん 40(3), 448, 2003.

### **0331127**

安富素子, 大嶋勇成, 小俣合歓子, 山田彰子, 眞弓光文: 単球由来樹状細胞のToll like receptor(TLR) による活性化に対するerythromycin (EM)の影響. 第33回日本免疫学会総会, 2003, 12, 福岡.

### **0331128**

塚原宏一, 山田直江, 米谷 博, 巨田尚子, 佐藤周子, 谷澤昭彦, 眞弓光文: 硫酸マグネシウム (MgSO<sub>4</sub>) の母体への長期投与による骨減少症が考えられた超低出生体重児例. 第21回小児代謝性骨疾患研究会, 2003, 12, 東京.

## **(3) 国内学会 (地域レベル)**

### **a. シンポジスト・パネリスト等**

### **0331129**

中井昭夫: 10ヶ月健診〜基礎疾患などに注意するためには〜. 第45回日本小児神経学会北陸地方会. 小児科医に必要なこどもの発達健診の見かた・診かたについて. 2003, 9, 金沢.

### **b. 一般講演等**

### **0331130**

\*佐々木弘喜, \*木村浩彦, \*越元佳郎, \*角 弘諭, \*河村泰孝, \*伊藤春海, \*重松陽介, 畑 郁江: 高プロピオン酸血症の一例;MRによる基底核病変の変化. 第133回日本医学放射線学会中部地方会, 2003, 1. 名古屋. 日本医学放射線学会雑誌 63(8), 425, 2003, 9.

### **0331131**

小俣合歓子, 安富素子, 大嶋勇成, 谷澤昭彦, 眞弓光文: 腫瘍細胞の免疫系監視機構からのエスケープ現象における樹状細胞とMCP-1の関与について. 第7回血液疾患とサイトカイン研究会, 2003, 2, 金沢.

### **0331132**

鈴木孝二, 中井昭夫, 古畑律代, 眞弓光文: 突発性発疹関連脳症の2例. 第43回日本小児神経学会北陸地方会, 2003, 2, 金沢.

### **0331133**

\*山田須美恵, \*重松陽介, \*岩本陽子, 川満 徹: 障害児療育における父親の育児参加について. 第30回福井県小児保健協会学術集会, 2003, 2, 福井.

### **0331134**

谷澤昭彦, 早川和代, 鈴木孝二, 山田直江, 西田公一, 竹内元浩, 眞弓光文: 超大量化学療法後に肺転移で再発したclear cell sarcoma of the kidney の女兒例. 第18回北陸小児がん症例検討会, 2003, 2, 金沢.

### **0331135**

畑 郁江, 平野聡子, 中井昭夫, 眞弓光文, \*重松陽介, +小林圭子, +佐伯武頼: シトリン欠損症の2例. 第1回福井内分泌代謝懇話会, 2003, 3, 福井.

### **0331136**

平野聡子, 畑 郁江, 中井昭夫, 眞弓光文, \*重松陽介: 片側性の乳房腫大を契機に診断されたターナー症候群の1乳児例. 第17回北陸小児内分泌研究会, 2003, 3, 金沢.

### **0331137**

山田直江, 中井昭夫, 西田公一, 眞弓光文, +米田誠, +古賀道明: Miller Fisher 症候群の1乳児例. 第277回日本小児科学会北陸地方会, 2003, 3, 金沢.

### **0331138**

鈴木孝二, 中井昭夫, 平岡政弘, 眞弓光文: 生体肝移植から2年を経て多発性硬化症を発症した1男児例. 第278回日本小児科学会北陸地方会, 2003, 6, 福井.

### **0331139**

畑 郁江, 早川和代, 古畑律代, 山田直江, 川谷正男, 金谷由宇子, 塚原宏一, 谷澤昭彦, 眞弓光文: 新生児ヘルペスウイルス感染症を発症した超低出生体重児の1例, 第39回中部日本小児科学会, 2003, 8, 松本.

### **0331140**

轟 夕起子, 川谷正男, 金谷由宇子, 塚原宏一, 平岡政弘, 眞弓光文: 血液持続濾過透析 (CHDF) を20日間施行し腎機能の回復が得られた溶血性尿毒症症候群の3歳女児例. 第11回中部日本小児腎臓病研究会, 2003, 9, 福井.

### **0331141**

畑 郁江, 早川和代, 古畑律代, 山田直江, 川谷正男, 金谷由宇子, 塚原宏一, 谷澤昭彦, 眞弓光文: 新生児ヘルペスウイルス感染症を発症した超低出生体重児の1例. 第11回北陸ウイルス感染症研究会, 2003, 9, 金沢.

### **0331142**

塚原宏一, 巨田尚子, 山田彰子, 金谷由宇子, 米谷 博, 佐藤周子, 谷澤昭彦, 平岡政弘, 眞弓光文: 母体へのリトドリン、マグネシウム投与の児への影響について. 第17回北陸未熟児・新生児研究会, 2003, 10, 金沢.

### **0331143**

金谷由宇子, 川谷正男, 畑 郁江, 平岡政弘, 中井昭夫, 谷澤昭彦, 眞弓光文, \*重松陽介: 両側低異形成腎を伴った先天性副腎皮質過形成症の一例. 第279回日本小児科学会北陸地方会, 2003, 12, 富山.

### **0331144**

川谷正男, 金谷由宇子, 中井昭夫, 塚原宏一, 眞弓光文: Pena-Shokeir症候群I型の1例. 第24回北陸先天異常研究会学術集会, 2003, 12, 福井.

### **0331145**

畑 郁江, 中井昭夫, 平野聡子, 眞弓光文, \*重松陽介, +林美貴子, +本田幸子: 末梢血染色体G分染法により47,XXXと診断されていたターナー症候群の一例. 第24回北陸先天異常研究会学術集会, 2003, 12, 松岡.

#### **(4) その他の研究会・集会**

##### **a. 招待・特別講演等**

### **0331146**

大嶋勇成: 予防接種における副反応対策. 鯖江市医師会3月十日会, 2003, 3, 鯖江.

### **0331147**

大嶋勇成: 予防接種における副反応対策. 小浜市医師会学術講演会, 2003, 4, 小浜.

**0331148**

眞弓光文：アレルギーとストレス. バイオストレスを考える会, 2003, 8, 京都.

**0331149**

中井昭夫：身近なこどもの病気について. 鯖江市民間保育園保育研修会, 2003, 9, 鯖江.

**0331150**

眞弓光文：小児気管支喘息の病態と治療 ～小児と成人の違いについて～. 喘息セミナー in Fukui, 2003, 9, 福井.

**0331151**

眞弓光文：小児気管支喘息の病態と治療. 小児喘息フォーラム2003 in Sapporo, 2003, 9, 札幌.

**0331152**

眞弓光文：小児アトピー性皮膚炎における食物アレルギーの位置付け. 第1回京都小児皮膚疾患研究会, 2003, 10, 京都.

**0331153**

眞弓光文：小児科領域から見たウイルス性感染症と喘息（発症と増悪のメカニズム）. 第10回Allergy Forum in Gunma, 2003, 10, 前橋.

**0331154**

眞弓光文：気管支喘息の病態と治療 ー小児と成人の違いを含めてー. 第15回西濃喘息研究会, 2003, 11, 大垣.

**0331155**

眞弓光文：小児喘息の発症要因と治療. 小児軽症喘息座談会, 2003, 11, 福井.

**0331156**

眞弓光文：アレルギー疾患の生理と治療. 第3回小倉アレルギー懇話会, 2003, 11, 小倉.

b. シンポジスト・パネリスト等

**0331157**

眞弓光文：多因子遺伝のEBM. 第8回小児気道アレルギー研究会. 病態のトピックス. 2003, 4, 名古屋.

**0331158**

平岡政弘：献腎移植～医師の立場から, 第6回北陸地方救急医療に携わる看護職との意見交換会, 2003, 5, 松岡.

**0331159**

平岡政弘：子どものいのちの輝き. 平成15年度臓器・骨髄移植普及推進福井県民大会, 2003, 10, 福井.

b. 一般講演等

**0331160**

大嶋勇成：内分泌攪乱物質がヘルパーT細胞分化に及ぼす影響. 平成14年度科学研究費補助金特定領域研究”内分泌攪乱物質の環境リスク”研究成果報告会, 2003, 1, 松山.

**0331161**

古畑律代, 山田直江, 塚原宏一, 佐藤周子, 巨田尚子, 眞弓光文：母体への硫酸マグネシウム長期投与によ

る骨減少症が疑われた超低出生体重児例. 第3回未熟児新生児医療研究会, 2003, 1, 京都.

### **0331162**

平岡政弘 : 子どもの慢性腎疾患 病気の理解とその対応について. 福井県乳幼児発達相談指導事業研修会, 2003, 2, 福井.

### **0331163**

轟 夕起子, 鈴木孝二, 古畑律代, 畑 郁江, 塚原宏一, 平岡政弘, 眞弓光文 : 学校検尿で濃尿を契機に発見され低身長と腎機能障害を呈した後部尿道弁の1例. 第8回福井腎疾患研究会, 2003, 3, 福井.

### **0331164**

+関根恭一, 塚原宏一, +西井 学, +黒瀬ルミ子, +針田恭子, +川上寿子, +植竹達雄, +三浦雅一, +三田真史, +山本順寛 : 新生児における血中抗酸化ストレス物質の測定意義. 第4回酸化ストレスマーカー研究会, 2003, 6, 東京.

### **0331165**

大嶋勇成, 小俣合歓子, 安富素子, 眞弓光文 : 樹状細胞に対するケモカインの作用 : 喘息の治療標的の可能性. 第2回アレルギー細胞ネットワーク研究会, 2003, 7, 東京.

### **0331166**

大嶋勇成 : 内分泌攪乱物質がヘルパーT細胞分化に及ぼす影響. 平成14年度科学研究費補助金特定領域研究”内分泌攪乱物質の環境リスク”研究成果報告会, 2003, 7, 札幌.

### **0331167**

米谷 博 : CBSCT後の再発に対して母親からHLA2座不適合PBSCTを施行した男児例. 第20回福井移植と大量化学療法研究会, 2003, 7, 福井.

### **0331168**

早川和代, 鈴木孝二, 山田直江, 古畑律代, 竹内元浩, 谷澤昭彦, \*重松陽介, 眞弓光文 : 当科における臍帯血移植の経験. 第14回福井造血幹細胞移植研究会, 2003, 3, 福井.

### **0331169**

中井昭夫 : 機能的光トポグラフィーによる乳児視覚野の反応の経時的変化. 第7回福井医科大学高エネルギー医学研究センター研究発表会, 2003, 8, 福井.

### **0331170**

平岡政弘 : 小児腎不全について. 福井赤十字病院臓器移植に関する研修会, 2003, 8, 福井.

### **0331171**

平岡政弘 : 慢性腎疾患について. 福井県小児慢性特定疾患相談会, 2003, 9, 福井.

### **0331172**

谷澤昭彦, 竹内元浩, 眞弓光文 : 当科における再移植症例の検討. 第15回福井造血幹細胞移植研究会, 2003, 10, 福井.

### **0331173**

大嶋勇成 : 小児気管支喘息治療ーエビデンスと私の考えー. 第9回小児気道アレルギー研究会. Hygiene 仮説とTh1/Th2パラダイム. 2003, 11, 京都.

### 0331174

大嶋勇成：遺伝子解析による喘息発症予測の現況について. 第2回小児軽症喘息座談会, 2003, 11, 福井.

### 0331175

中井昭夫, 眞弓光文, +柏倉健一, \*米倉義晴, +河内山隆紀, +定藤規弘, +小泉英明：機能的光トポグラフィによる乳児視覚野の反応の経時的変化. 平成15年度岡崎国立共同研究機構生理研研究会「神経科学の道具としての機能的MRI研究会」, 2003, 11, 岡崎.

### 0331176

平岡政弘：小児の腎疾患・尿検査を考える. 福井県健康福祉センター管内保健・福祉関係職員研修会, 2003, 11, 福井.

## 4. グラント取得

### (ア) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	氏名	期間 (年度)	金額 (配分額)	備考 (代表者名)
政府関連 大型プロジェクト	科学技術振興事業 団社会技術推進事業 「脳科学と教育」	人間のコミュニケーション機能 発達過程の解明	眞弓光 文 (分 担)	H14 ~16	900 千円	定藤規弘 (自然科学 研究機構生 理学研究 所)
COE	「生体画像医学の 総合研究プログラ ム」	脳発達に関する 研究	眞弓光 文 (分 担)	H15	2,700 千円	米倉義晴(福 井大学)

区 分	課 題 名	研究種目	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
文部科学省 科学研究費 補助金	レドックス制御が急性 肺障害におよぼす治療 的効果	基盤研究(B) (2)	眞弓光文	塚原宏一	H15	3,500 千円
	非侵襲的脳機能画像法 を用いた対面コミュニ ケーション機能発達過 程の解明 視聴覚およ び触覚の感覚統合過程 の解析	基盤研究(B) (1)	定藤規弘 (自然科学研 究機構生理 学研究所)	眞弓光文	H15	500 千円
	内分泌攪乱物質がヘル パーT細胞分化に及ぼす 影響	特定領域研究	大嶋勇成		H14~15	440 千円
	タンデム質量分析法新 生児マススクリーニン グ対象疾患の診断精度	基盤研究(C) (2)	重松陽介 (福井大学)	畑 郁江	H14~15	H14 1,900 千円 H15 1,600

	と医学管理の研究					千円
厚生労働省 科学研究費 補助金	食物アレルギーの実態 及び誘発物質の解明に 関する研究	感覚器障害及 び免疫・アレ ルギー等研究 事業	海老沢元宏 (国立相模 原病院臨床 研究センタ ー)	眞弓光文	H15	2,000 千円
	EBMに基づいた喘息治 療ガイドライン	医療技術評価 総合研究	宮本昭正 (日本臨床 アレルギー 研究所)	眞弓光文	H15	250 千円
その他の グラント ・政府関連 ・民間財団 など	気管支ぜん息等の発 症・増悪リスクとして の環境要因の寄与の程 度に関する研究	公害健康被害 補償予防協会 「大気汚染に よる健康影響 に関する総合 的研究」	工藤翔二 (東京大 学)	眞弓光文	H15	4,400 千円
	機能的MRIを用いた小 児中枢性聴覚障害の新 しいスクリーニング法 の開発に関する研究	森永奉仕会研 究奨励金	中井昭夫		H15	500 千円
	内分泌攪乱物質がヘル パーT細胞分化に及ぼ す影響：アレルギー性 疾患の増加との関連性	日本化学工業 協会LRI自主研 究	大嶋勇成		H15	3,500 千円
		地域医学研究 基金平成15 年度研究助成 金	大嶋勇成		H15	1,000 千円

### (イ) 奨学寄附金

受入件数	11
受入金額	4,500,000

## 5. その他の研究関連活動

### (ア) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会 (地方会レベ ル)	主催	第278回日本小児科学会北陸地 方会	2003.6.8	松岡町
	共催	「こどもの健康を考える」講習 会	2003.1.26.	福井市
	主催	第30回福井県小児保健協会学術	2003.2.22	福井市

その他		集会		
	共催	福井県小児内分泌代謝研究会	2003.5.17.	福井市
	主催	第31回福井県小児保健協会学術集会	2003.7.26.	福井市
	主催	第11回中部日本小児腎臓病研究会	2003.9.20	福井市
	共催	第15回福井造血幹細胞移植研究会	2003.10.1.	福井市
	共催	第13回福井県こどもの健康を考えるつどい	2003.10.25.	福井市
	共催	小児軽症喘息座談会	2003.11.14.	福井市

### (イ) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本小児アレルギー学会	理事	眞弓光文
日本小児科学会	代議員	眞弓光文
日本小児科学会	認定医試験委員	眞弓光文
日本アレルギー学会	評議員	眞弓光文, 大嶋勇成
日本アレルギー学会	プログラム委員	眞弓光文
日本感染症学会	評議員	眞弓光文
日本小児呼吸器疾患学会	運営委員	眞弓光文
日本小児呼吸器疾患学会	セミナー委員	眞弓光文
日本小児感染症学会	プログラム委員	眞弓光文
日本小児感染症学会	プログラム委員	眞弓光文
日本小児腎臓病学会	理事	平岡政弘
日本腎臓学会	評議員	平岡政弘, 塚原宏一
中部日本小児腎臓病研究会	代表幹事	平岡政弘
RNフォーラム	幹事	平岡政弘
日本小児腎臓病学会	評議員	塚原宏一
日本周産期・新生児医学会	評議員	塚原宏一

小児骨代謝研究会	幹事	塚原宏一
小児続発性骨粗鬆症研究会	幹事	塚原宏一
北陸未熟児・新生児研究会	理事	塚原宏一
日本小児神経学会北陸地方会	幹事	中井昭夫
福井Infection Control Forum	幹事	塚原宏一
北陸てんかん懇話会	幹事	中井昭夫
福井てんかん懇話会	幹事	中井昭夫

## (ウ) 座長

国際学会(全国レベル)	学 会 名	氏 名
招待・特別講演等	第53回日本アレルギー学会	眞弓光文
	第38回小児腎臓病学会	平岡政弘
シンポジウム	第20回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	眞弓光文
	第15回日本アレルギー学会春期臨床大会	眞弓光文
	第40回日本小児アレルギー学会	眞弓光文

## (エ) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長・委員の別	氏 名
日本小児科学会雑誌	委員	眞弓光文
日本小児アレルギー学会雑誌	委員長	眞弓光文
日本小児感染症学会雑誌	委員	眞弓光文
日本アレルギー学会雑誌	委員	眞弓光文

## 6. 産業・社会への貢献

### (ア) 国・地域等への貢献

#### (1) 審議会、委員会等

区分	審議会、委員会等の名称	役職	氏名	開催日
国	厚生労働科学研究評価委員会	委員	眞弓光文	2004.2.16～17
	日本新生児医療連絡会	委員	塚原宏一	
	福井県心身障害児就学指導委員会	委員	眞弓光文	2003.8.26/9.19 /2004.1.14
	福井県周産期医療協議会	委員	眞弓光文	2003.11.14

地方自治体	福井県健康づくり推進協議会母子保健部会	委員	眞弓光文	
	難病対策協議会 小児慢性特定疾患認定審査部会	委員	塚原宏一	2004.2.13

## (2) 専門職業人に対する研修・セミナー等

区分	研修・セミナー等の名称	役職	氏名	開催日
地方自治体	平成15年度食生活・栄養管理研修会	講師	眞弓光文	2003.11.28
公益法人等	アレルギー研修会2003	講師	眞弓光文	2003, 5. 17.
	日本医師会生涯教育講座	講師	眞弓光文	2003, 7. 4.
	第1回小児がん福井交流会	講師	眞弓光文	2003, 11. 8.

## (3) 教育委員会、学校との連携・協力による活動

活動内容	氏名
福井県福井東養護学校学校医	眞弓光文
福井県教育委員会 家庭教育活性化協議会 すこやか家庭教育支援事業 テレビ放送番組「幼児の世界」 放送企画委員	中井昭夫

## (4) 一般社会人学習等への貢献

活動内容	氏名
A: 福井県他共催。一般社会人対象。参加者約250名。福井健康セミナー。2003, 11.29. 講師	眞弓光文

## (5) 公益法人・会社等への参加状況

名称	役職名	氏名
財団法人母子保健衛生研究会	顧問	眞弓光文
財団法人日本アレルギー協会	理事	眞弓光文
NPOバリアフリー推進協会	理事	眞弓光文

## 7. その他の特記事項

中井昭夫：リジン尿性蛋白不耐症における新しい食事療法の試み。 Growth Hormone World Medical Courts [http://ghw.pfizer.co.jp/passed/gh\\_medicalcourts/medicalcourts/for\\_doctor.htm](http://ghw.pfizer.co.jp/passed/gh_medicalcourts/medicalcourts/for_doctor.htm) 2003年2月

### TV出演

中井昭夫：福井県教育委員会 家庭教育活性化協議会 すこやか家庭教育支援事業、福井放送「幼児の世界」 育児相談宅配便「生活習慣これでいいの？」 2003年8月

中井昭夫 : 福井県教育委員会 家庭教育活性化協議会 すこやか家庭教育支援事業  
福井放送「幼児の世界」 「赤ちゃん研究最前線」 2003年9月

中井昭夫 : 福井放送 報道番組「夕方いちばん」  
特集「シリーズ健康いちばん」 「画像で乳児の脳探る」 2003年9月